

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	金融対策事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	産業振興 局	商工労働 部	ものづくり支援 課	評価責任者(課長名)	村井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	4	産業を振興し、地域の持続的発展を支えます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	中小企業の経営基盤の強化	有
	2	事業開始年度	昭和 25 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市中小企業融資制度要綱			
	4	関連計画	産業振興アクションプラン			
5	事業実施の経緯	中小企業は大企業ほど信用力が高くなく、民間金融機関からの借入れは容易でないため、市が制度設計を行い、産業振興センター等の公的保証を付すことで、中小企業の資金調達を支援するために事業を実施する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他(金融機関)			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	中小企業者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	中小企業の資金調達の円滑化と経営の安定化を図ること。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	金融機関に貸付残高に応じた金額の預託金を預入れすることにより、(公財)堺市産業振興センター保証融資をはじめとした低利率の制度融資を市内中小企業向けに実施している。また、センター保証融資の一部については、信用保証料の全額負担制度を実施している。			
	10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他(預託)			
		市外郭団体、金融機関				

Ⅲ. 投入量

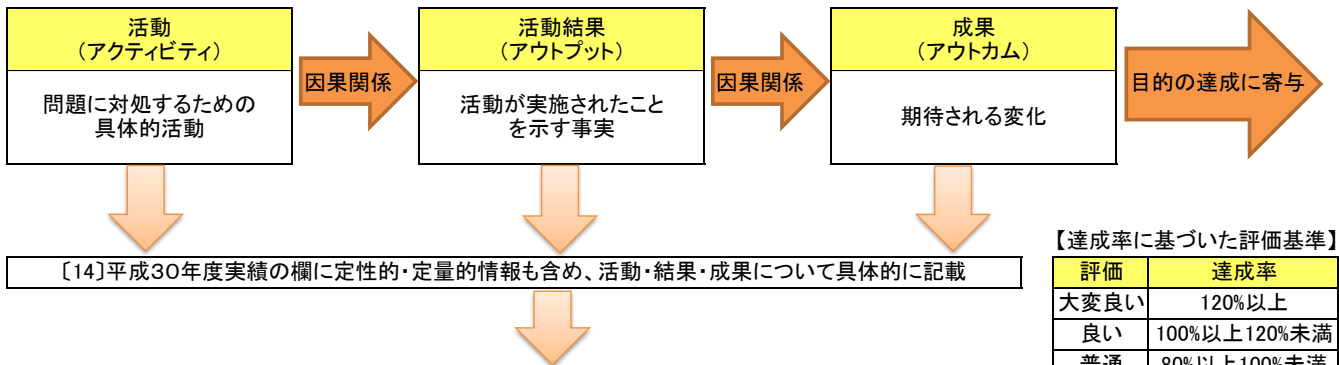
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費(a)	千円	1,774,927	1,570,921	1,202,490	4,122,159	
	主な事業費内訳	貸付金(預託金)	千円	1,758,200	1,554,700	1,185,000	4,081,200
		信用保証料負担金・補助金	千円	327	0	1,059	22,523
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(中小企業振興資金貸付金元金収入)	千円	1,758,200	1,554,700	1,185,000	4,081,200
		一般財源	千円	16,727	16,221	17,490	40,959
	12	人件費(b)	千円	22,100	21,400	21,400	21,200
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	1,797,027	1,592,321	1,223,890	4,143,359

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	金融対策事業	シート番号	15-19
-------	--------	-------	-------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	<p>14 中小企業者の多様な資金需要に対応すべく、平成30年度から無担保の設備向け融資を創設し、本市の制度融資は、無担保・有担保あわせて計7つの融資制度とした。 また、既存融資制度のうち、小規模事業者向け融資の堺市中小企業振興資金融資(無担保)市町村連携型の融資条件を緩和するとともに、設備投資を主な対象とする堺市中小企業活力強化資金融資(有担保)については、融資の対象業種を拡充した。加えて、本市制度融資の大半を担う、(公財)堺市産業振興センター保証融資を利用するにあたり、中小企業者が負担する保証料を引き下げた。 以上のような制度改正が功を奏し、制度融資の決定件数の増加(29年度 52%増)に繋がり、ひいては市内中小企業者の資金調達の円滑化並びに経営の安定に寄与できているものと考えられる。</p>						
	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	15 経済情勢や中小企業者の状況に応じた適切な融資制度数		制度	目標値	7	7	7
				実績値	6	6	7
				達成率	86%	86%	100%
				評価	普通	普通	良い
	算出方法・設定根拠など		経済情勢などを勘案して適切な制度数を設定				
	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	16 融資決定件数		件	目標値	55	43	30
				実績値	43	27	41
				達成率	78%	63%	137%
				評価	少し悪い	少し悪い	大変良い
	算出方法・設定根拠など		過去実績や経済情勢などを勘案して設定				

#### 業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>平成30年度の見直しで保証料率の引き下げや、設備向け融資の対象業種を拡充するなど、制度融資条件を緩和したことなどが、融資決定件数が増加したことの要因と考えられる。</p>
----	---

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。